

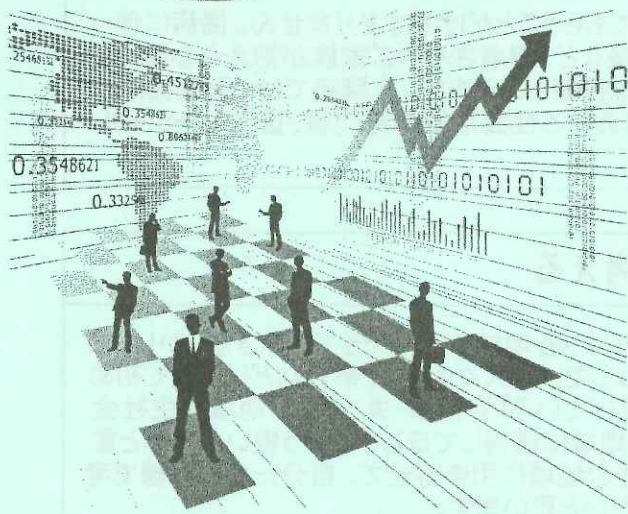
聴講生 募集

学びたい講義を一つだけ、1日だけなら参加してみたい。
そんなご希望にお応えします。

お好きな講義(日)を選んで聴講することができます。

平成30年度 はびきの市民大学

生活を支える様々な活動と制度 社会福祉の視点から振り返る 平成の30年 四天王寺大学特別公開講座



社会福祉で取り上げる問題は、貧困、家庭、学校、保健医療、児童、高齢、障がい、依存症、地域づくり、社会保障制度など多岐にわたります。また、平成の時代は、さまざまな法律・制度の改革がありました。社会福祉の視点から平成の社会福祉について振り返りたいと思います。

日曜日・13時00分～14時30分

6	12/9	ハンセン病問題の現在・過去・未来	四天王寺大学 教授 和田謙一郎
7	12/16	医療機関における社会福祉活動	四天王寺大学 准教授 川下維信
8	1/13	我が事丸ごとの地域共生社会を考える	四天王寺大学 准教授 畑智恵美
9	1/20	障がいのある子どもの権利の変遷	四天王寺大学 准教授 鳥海直美

場 所 羽曳野市立生活文化情報センター (LIC はびきの内施設)
 受 講 料 1 講義につき 800 円 (当日支払)
 申込期間 当該講義日の 1 週間前～前日まで ※定員に達し次第締め切りとなります。
 申込方法 来館・電話・FAX
 対 象 市内・市外を問わず、どなたでもお申し込みできます。
 ※障がいへの配慮が必要な場合は事前にご相談ください。

はびきの市民大学

〒583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 LICはびきの内

TEL 072-950-5503・FAX 072-950-5650

事務室時間 9時00分～17時30分 ※閉室は祝日・振替休日・年末年始



主催/羽曳野市

取得した個人情報は、イベントの管理に関する目的以外には利用いたしません。羽曳野市個人情報保護条例(平成12年羽曳野市条例第43号)に基づいて適切に管理いたします。

生活を支える様々な活動と制度 社会福祉の視点から振り返る平成の30年

時間:13時00分～14時30分

第6講義 ハンセン病問題の現在・過去・未来

ハンセン病の問題には、私達の想像を超える人権侵害が存在していました。これは間違いがないことです。しかし、その時代において何が違法であり何がやむを得なかったのか、これらは解明できていたとはいえません。それらを少しでも解明しなければ、障害や希少難病等に対する偏見・差別が生じ続けます。「当時の目線で当時のこと眺める」ことを基本として、当事者の生活歴を眺め、偏見・差別に立ち向かう社会保障法制の役割を考えます。

第7講義 医療機関における社会福祉活動

近年、市民が医療機関に求めることは、単に病気を治してもらうことだけではありません。傷病に伴って生じる生活上の問題や医療費の問題、社会復帰の支援など、患者さんやご家族が抱える心配ごとを解決する社会福祉活動も医療機関が果たすべき重要な役割といえます。本講義では、医療機関における社会福祉活動の発展を概観しながら、医療機関における社会福祉の専門職、医療ソーシャルワーカーの働きを紹介していきたいと思ひます。

第8講義 我が事丸ごとの地域共生社会を考える

地域のつながりを取り戻そう、再構築しようという取り組みは、各地域で進んでいます。しかし、社会からはなかなか見えにくい形で、問題を抱え込み、苦しんでいる人々も多く、事件などになって初めて顕在化するなど社会問題ともなっています。今、国が掲げている「我が事・丸ごと」の地域共生社会は、このような問題を深刻化する前にキャッチできる力を地域に獲得してほしいという狙いがあると言えます。この「我が事・丸ごと」の意味や意義を、自分の住む地域に引き寄せて、自分たちの目線で考えることを通して、その目指すところについて考えていきたいと思ひます。

第9講義 障がいのある子どもの権利の変遷

「わたしたちのことをわたしたちぬきで決めないで」というスローガンに基づいて、障害のある人は自らの権利を獲得してきました。障害のある子どもの権利は〈子どもの権利条約〉と〈障害者権利条約〉に定められています。二つの条約批准に至る経緯を概観しながら、学校や地域のなかで障害のある子どもの思いを聴くことについて考えます。